

大船渡だより

大船渡ベースの活動紹介

ボランティアさんが陸前高田で活躍!

夏休みを利用して、たくさんのボランティアの方が来て下さいました。大船渡だけでなく陸前高田の活動も体験して頂きたく、パクトの活動に参加しました。

気温35度という猛暑の中、モビリアオートキャンプ場に建てられた仮設住宅で草刈り作業を行いました。一戸建ての仮設住宅の周りには、沢山の草が生い茂っていました。炎天下での作業になりましたが、体調を崩す人も無く、最後まで一生懸命取り組みました。

また、気仙左官大工伝承館で草取り作業を行った際には、作業終了後に館長さんから震災時の話を伺いました。さらに、神戸の1.17希望の灯りから分灯された3.11希望の灯りの説明、そして、震災に備えて覚えて欲しい3つのことが伝えられました。『①すぐ逃げられるよう、車はバックで駐車すること。②緊急時に連絡の拠点になってもらう為、遠くの親戚の電話番号を登録しておくこと。③津波でんでんこ。』この3つのことを心掛けて欲しいという話を頂きました。館長さんのお話に、ボランティアさんも真剣に耳を傾けていました。



復興支援住宅デー in 野々田アパート



9月8日(土)、災害公営住宅野々田アパートにおいて、『第5回 復興支援住宅デー』が開催されました。このイベントは、神奈川土建一般労働組合相模原支部の方々が、被災地で続く復興への長い道のりを自分たちがどの様に寄り添い共に歩みを進めるかを考え、友好都市である大船渡で4年前から始めた活動で、今回は地元の建設組合の方々も一緒に取り組みました。

アパート周辺では焼きそばやたこ焼き、かき氷などの軽食や子ども工作教室、包丁研ぎ、法律・労働・年金相談、アパートの集会所ではヘアカット、健康測定、耳つぼエステ、デコパージュのブースが設けられ、すべて無料で振る舞われました。

時々小雨が降るお天気でしたが、アパートの入居者だけでなく地域の方々もたくさん来場され、賑わいを見せていました。

この日参加された土建組合の方は、当日の朝に大船渡に到着したそうですが「毎回このイベントで逆に元気をもらっています。」と、疲れも見せず、にこやかに話して下さいました。

2018年9月1日~30日の活動紹介

※随時、ベースでお茶っこ在宅訪問をしています。

- 1日:被災地見学/買物送迎
- 2日:NPOパクト 草取り
- 4日:個人依頼 花畑草取り
ほっこりクラブ 未就園児教室手伝い
ファミリーサポート 子ども預かり
- 5日:買物送迎
平南アパート たこ焼き/手芸サロン
ファミリーサポート 子ども預かり
カリタス釜石見学
- 6日:所通東アパート たこ焼き
被災地見学
- 7日:カメラクラブ 託児ボランティア
- 8日:ママサロン/買物送迎
- 11日:カリタスシネマ
- 12日:買物送迎
赤沢アパート たこ焼き/手芸サロン
- 13日:上山東アパート たこ焼き
- 14日:歌っこのつどい
- 15日:買物送迎/外国人支援 在宅訪問
- 16日:NPOパクト 草取り
- 19日:買物送迎/手芸サロン
- 20日:カリタスシネマ
外国人支援 病院付き添い
個人依頼 野菜苗植え
- 21日:乳幼児教室 子ども見守り
外国人支援 たかたゆめキッチン送迎
- 22日:買物送迎
杉下団地 たこ焼き・輪投げ
- 25日:第3回東日本大震災応援ツアー
- 26日:買物送迎/清水アパート 歌っこの手芸サロン
第3回東日本大震災応援ツアー
- 27日:子ども預かり ファミリーサポート
- 28日:ポッチャを楽しむ会
- 29日:買物送迎/抹茶サロン



カトリック富山教会『親子の巡礼』ツアー

8月27日(月)~28日(火)に、カトリック富山教会の小中高生とその保護者16名が来訪し、東日本大震災応援ツアーのスケジュールで活動しました。

しおりには「①『被災地』を自分の目でしっかり見よう。②『寄り添うこと』を見つめよう。③『自分にできること』を考える。」とありました。目的が明確なほど、活動から多くを受け取ることが出来ます。

2日目のミサのお説教で、「身の回りのできることをしていくことも大切だと思った。」と、神父様はおっしゃいました。日常生活の中で、自然と隣の人を気遣うことを心掛けていると、ひいてはボランティア活動へも自然と足が向くかもしれません。

初日のわかちあいでは、富山教会のお母様方は、被災されたお母様の身になり目に涙を浮かべていました。震災から何年経っても、この地を訪れると、体験していない者も日常の喪失、あの時起きたであろうことが心に浮かび、我がことのように感じ入ります。その体験が自分の身を守る意識となり、寄り添う心を育んで頂ければと思います。



地域のイベントや活動紹介

熱気球に乗って

9月2日(日)、東日本大震災復興支援熱気球イベント『空を見上げて IN 大船渡』が開催されました。

このイベントは、被災地の子どもたちを元気づけようと、平成23年8月に大船渡市で第1回が開催され、その後、宮城、福島、東京でも開催されて、大船渡では今回8回目となりました。

当日は、大船渡町の船渡北小学校のグラウンドに、全国から3機の熱気球が参加しました。体験搭乗には朝早くからいろいろな世代の市民が集まり、めったに乗ることのない気球を体験して歓声を上げていました。ポーン、ポーン、とガスの炎で気球が温められ、静かに上昇して、上空約20メートルの高さから復興していく町を眺めました。この日は穏やかな天候で、とても愉快で貴重な体験となりました。



大船渡市の元中心地の様子 (2018/10/11 撮影)



お矢〇らせ
東日本大震災応援ツアーは、**全日程定員**となりました。たくさんのお申し込みをいただき、ありがとうございました。

ボランティア登録者数

男性 **625**人
女性 **1269**人
⇒合計 **1894**人

◆9月1日~9月30日
ボランティア数
男 性 : **0** 名
女 性 : **13** 名

ボランティアさん大募集中!

大船渡ベースでは、ベースのホールで開催する「サロン活動」が盛んです。お手伝いして下さるボランティアさん、**大募集中**です!

★「手芸サロン」「ちぎり絵教室」「折り紙教室」「英語でティータイム」「抹茶サロン」「歌っこのつどい」「ポッチャを楽しむ会」などなど。
※詳しくは、お気軽にベースにお問い合わせください。